

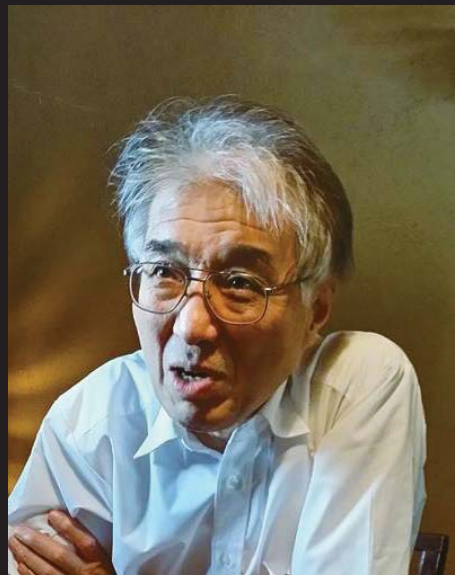
映画「シロウオ～原発立地を断念させた町」



原発建設予定地から約6Km
徳島県海部郡美波町伊座利

2014年10月11日(土)
午後1時00分～
クレオ大阪西ホール
入場料1,600円(税込)

チケット販売並びにお問合せ先
小出裕章さん講演会+映画「シロウオ」上映会事務局
新聞うずみ火編集部内 06-6375-5561
mail: info@daysjapan.jp



小出裕章 京都大学原子炉研究所助教

映画「シロウオ」は、いまから30年以上も前の1980年代、原発の誘致計画に対して異を唱えた住民たちが反対運動によって計画を阻止した2つの町の今を取材したドキュメンタリーです。紀伊水道を挟んで相対する和歌山県日高町と徳島県蒲生田。反対運動に関わった当時の住民10数名の証言を中心に、地域の繁栄とは、土地に生きるとは、未来をつくるとは何かを問いかけます。

5月21日に福井地裁による関西電力大飯原子力発電所の運転差し止め裁判の判決が言い渡されました。その判決要旨では「生命を守り生活を維持するという人格権の根幹部分に対する具体的侵害のおそれがあるときは、人格権そのものに基づいて侵害行為の差止めを請求できることになる。」とされ、原子力発電所に求められるべき安全性を「万一の場合にも放射性物質の危険から国民を守るべく万全の措置がとられなければ」ならないとしました。本イベントでは、映画「シロウオ」が問いかけている未来を子や孫たちの世代に引き継ぐことの意味を考えるとともに、小出裕章さんから原子力発電や放射能汚染が社会に与えている影響と、私たちの生き方についてお話しいたします。

日時 2014年10月11日(土) 午後1時00分～5時00分
会場 クレオ大阪西(大阪市立男女共同参画センター西部館ホール)
西九条駅(JR環状線・阪神なんば線)から徒歩約3分
入場料 1,600円(税込)
定員 386名
共催 新聞うずみ火編集部、DAYSJAPAN 関西サポーターズクラブ
※ただいま協力団体を募集中です。裏面をご覧ください。

小出裕章さん講演会+映画「シロウオ」
福島第一原発事故がもたらした社会状況と私たちの生き方

本イベントの開催主旨にご賛同、ご協力いただける団体様を募集しております。
ご協力いただきたい内容は以下のとおりです。

【ご協力依頼 1】

チケット販売・動員協力

1口 10枚 何口でも結構です。

協力費として10%をお渡します。

チケット1枚に1冊「シロウオ」監督のかさこ氏が発行している「かさこマガジン」
をご提供します。

イベント会場にて販売ブースをご提供します。

販売、販売管理は出展団体様でお願いします。

配布チラシ、チケットに「協賛団体」として団体名を明記いたします。

【ご協力依頼 2】

広報・宣伝協力

チラシ配布

SNS、メーリングリスト等ネットによる広報

本件は無償でお願いいたします

イベント会場にて販売ブースをご提供します。

販売、販売管理は出展団体様でお願いします。

配布チラシ、チケットに「協力団体」として団体名を明記いたします。

7月31日まで受け付けております。何卒、よろしくお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは

小出裕章さん講演会 + 映画「シロウオ」上映会事務局

新聞うずみ火編集部内 06-6375-5561

mail : info@daysjapan.jp